

報 告

静岡県西部地域における3歳児のアトピー性皮膚炎の実態

— 第1報 食習慣と生活習慣に関する検討 —

甲田 勝康¹⁾, 中村留美子¹⁾, 戸川可奈子¹⁾
宮原 時彦¹⁾, 坪井 宏仁¹⁾, 竹内 宏一¹⁾

〔論文要旨〕

アトピー性皮膚炎の発症には食物因子、生活環境因子等が関与するが、今回、静岡県西部地区の3歳児2,403人について、アンケートを用い、食および生活習慣の実態調査を行った。

アトピー性皮膚炎の既往歴について「あり」と答えたものは全体の25.3%であった。母にアトピー性皮膚炎の既往歴がある場合、子供がアトピー性皮膚炎を持つ割合が高かった(66.7%)。アトピー性皮膚炎の既往歴があるものは起床時刻が遅く、屋外で遊ぶ時間が少なかった。食品の摂取頻度については、アトピー性皮膚炎の既往歴があるものは、卵類の摂取が少なく、逆に魚類の摂取が多かった。本疾患対策のため、各種食物選択に関する情報が流布されているが、アトピー性皮膚炎児を持つ母親はそれらの影響を受けている可能性が推察された。

Key words: アトピー性皮膚炎、3歳児、生活環境、食習慣

I. 目 的

近年、アトピー性皮膚炎を中心としたアレルギー疾患は増加傾向にあるが、アトピー性皮膚炎の発症には食物因子のみならず、大気汚染物質、室内環境汚染物質、心理的環境因子など、様々な環境因子が関与すると報告されている¹⁾。今回我々は、このような環境因子を分析するにあたり、今後のあり方を検討する上での基礎的資料とする目的で、その実態調査を行った。

II. 方 法

調査の対象は、静岡県西部地区(2市6町)において、平成5年4月から平成6年6月の間に3歳児健康診査の対象となった2,722名およびその保護者である。このうち3歳児健康診査を受診したものは2,575名(男児1,281名,女児1,304名)であり、受診率は94.6%であった。調査はアンケートを用いて行った。アンケート用紙は健康診査に先立って、あらかじめ保護者に郵送し、健康診査会場にて全員に面接し、未記入欄や不明欄についての確認を行ったうえで回収した。質問の内容は、「今までに『アトピー

Epidemiological Study on the Actual Condition of Atopic Dermatitis in 3 Years Old Children in the Western Region of Shizuoka Prefecture
Part 1 The Meals and Daily Activities
Katsuyasu KOUDA, Rumiko NAKAMURA, Kanako TOGAWA, Tokihiko MIYAHARA, Hirohito TSUBOI, Hiroichi TAKEUCHI

[8056]

受付 96. 7. 17

採用 97. 5. 15

1) 浜松医科大学 公衆衛生学教室 (職域: 医師 (内科), 医学教官, 研究職)

別刷請求先: 甲田勝康 浜松医科大学公衆衛生学教室, 〒431-31 浜松市半田町3600

Tel 053-435-2329 Fax 053-435-2330

性皮膚炎である』と医師にいわれたこと(以下、「既往歴」)の有無, および生活環境に関する質問として, 性別, 居住地の市町別, 「今までに母親が『アトピー性皮膚炎である』と医師にいわれたこと」(以下, 「母の既往歴」)の有無, 兄弟の有無, 父の職業, 母の職業, 主な保育者についてである。また, 生活習慣に関するものとして, 起床時刻, 就寝時刻, 平均睡眠時間, 排便回数, 保育園通園の有無, 体の動かし方, 自宅において屋外で遊ぶ時間についても質問した。さらに, 肉類, 魚類, 卵類, 豆類, 牛乳類, 野菜類のそれぞれの食品の摂取頻度について, 「日に2回以上」「日に1回」「2から3日に1回」「週に1回」「ほとんど食べない」のうちから1つ選択させた。アトピー性皮膚炎の既往歴について明確な回答が得られたものは2,403名(男児1,189名, 女児1,214名, 有効回答率93.3%)で

あった。

生活環境および生活習慣の統計学的検討には chi-square test for independence を, 食品摂取頻度の検討には Mann-Whitney's U test を用い, $p < 0.05$ において有意性ありとした。

Ⅲ. 結 果

アトピー性皮膚炎の既往歴について「あり」と答えたものは609名で全体の25.3%であった。

生活環境と既往歴の関係をみると(表1), 男女別では男児のうち既往歴「あり」と答えたものが26.5%, 女児が24.2%であった。居住地区では, 市部在住者のうち既往歴があるものは23.2%であったのに対し, 町部在住者は28.0%と町部が有意に高かった ($p < 0.01$)。母の既往歴の有無と子供の既往歴の有無についてみると, 母に既往歴がある場合は66.7%の子供が既

表1 アトピー性皮膚炎の既往と生活状況との関係 ()内は%

質問項目	アトピー性皮膚炎			検 定	
	あ り	な し	計		
性 別	男	315(26.5)	874(73.5)	1,189(100)	
	女	294(24.2)	920(75.8)	1,214(100)	
	計	609(25.3)	1,794(74.7)	2,403(100)	
市 町 別	市	314(23.2)	1,037(76.8)	1,351(100)	**
	町	295(28.0)	757(72.0)	1,052(100)	
	計	609(25.3)	1,794(74.7)	2,403(100)	
母親のアトピー 既往症	あり	98(66.7)	49(33.3)	147(100)	***
	なし	503(22.6)	1,726(77.4)	2,229(100)	
	計	601(25.3)	1,775(74.7)	2,376(100)	
兄 弟	あり	508(25.9)	1,453(74.1)	1,961(100)	
	なし	101(22.9)	341(77.1)	442(100)	
	計	609(25.3)	1,794(74.7)	2,403(100)	
父の職業	常勤	525(25.6)	1,527(74.4)	2,052(100)	
	自営	62(23.0)	208(77.0)	270(100)	
	農林漁業	15(33.3)	30(66.7)	45(100)	
	計	602(25.4)	1,765(74.6)	2,367(100)	
母の職業	専業主婦	428(26.0)	1,221(74.0)	1,649(100)	
	有職	176(24.1)	555(75.9)	731(100)	
	計	604(25.4)	1,776(74.6)	2,380(100)	
主な保育者	父および母	526(25.3)	1,552(74.7)	2,078(100)	
	祖父, 祖母, その他	76(28.6)	190(71.4)	266(100)	
	計	602(25.7)	1,742(74.3)	2,344(100)	

χ²検定 **p<0.01 ***p<0.001

